

2 - 4 東北地方の上下変動

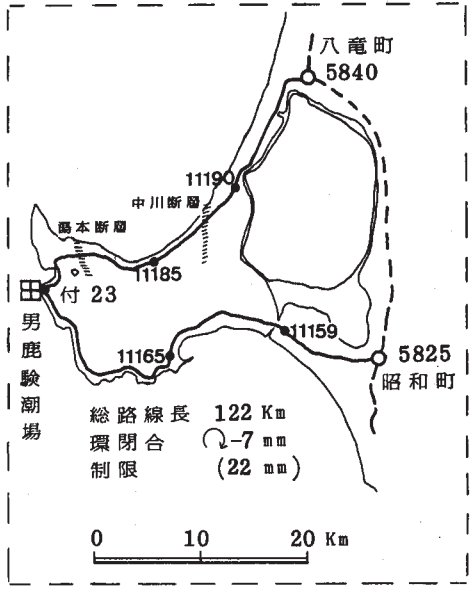
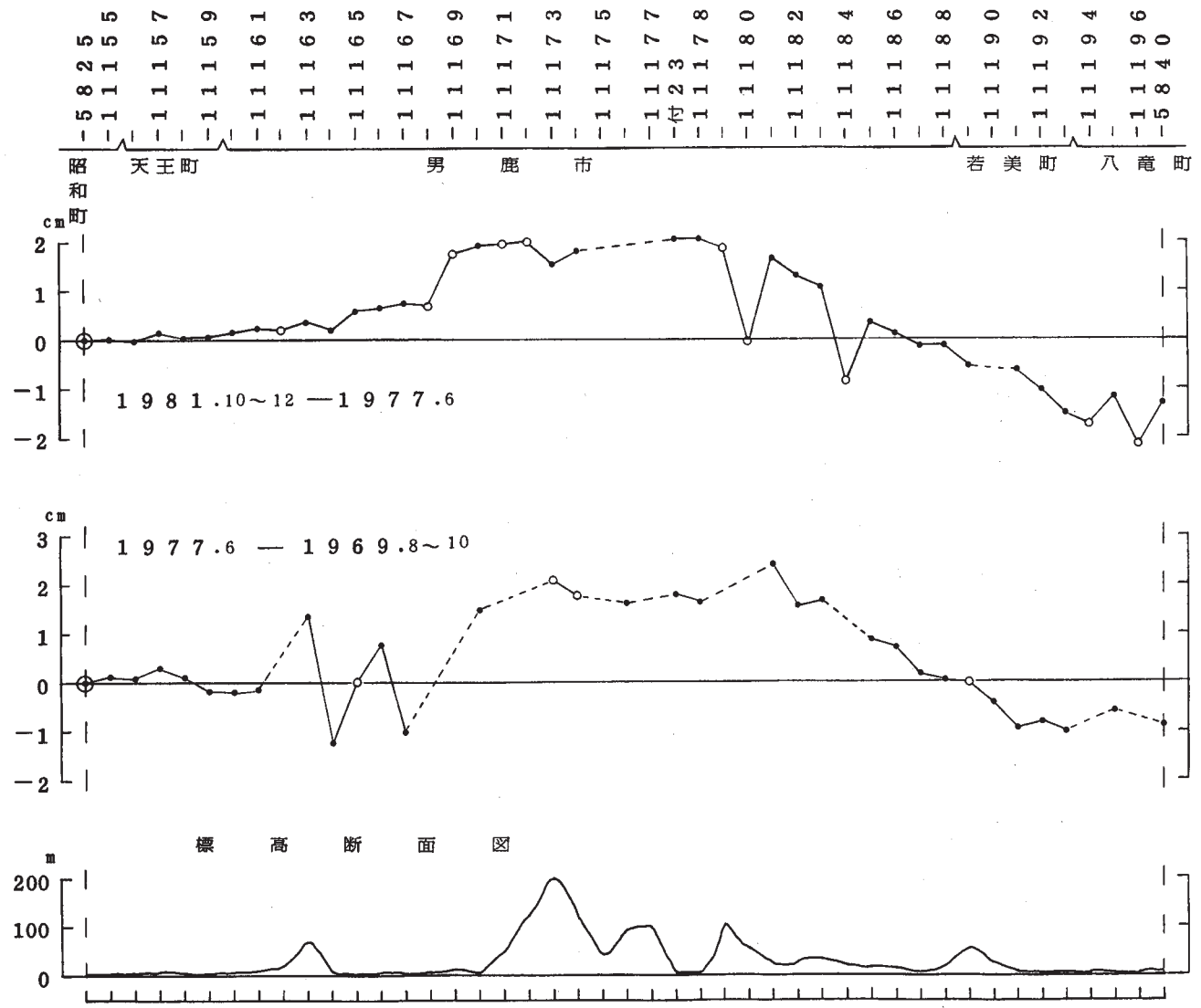
Vertical Movement in the Tohoku District

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1図は男鹿半島の周りの水準路線に沿う上下変動である。男鹿半島の隆起が良く認められる。それは第4図の験潮の資料（男鹿－鼠ヶ関）にもあらわれている。第1図からは1969～77年より1977～81年の方がやや速度を増したように見える。第2図は1969年から81年迄の全変動量の分布を示す。男鹿半島は、ほぼ西上りの隆起を示している。第3図は第1図をさらに北に延長したものである。（ただし、黒丸は1967～69年以来の全変動量であることに留意のこと。また、第1図と第3図では採用した不動点が異なる）。能代から深浦にかけては、男鹿に対して相対的に沈下しているが、1974～77年以降はその速度が減少している。これは第4図の験潮の資料（男鹿－深浦）からもうかがえる。第3図で深浦町南方の隆起は、深浦群発地震の影響と思われる。第5図に大館～青森間の上下変動を示す。弘前市とその北方の大きな沈下は、地盤沈下によるものと考えられる。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻調査部：青森県深浦付近の上下変動，連絡会報，**21**（1979），21.
- 2) 国土地理院測地部：能代～秋田間の上下変動，連絡会報，**26**（1981），44.
- 3) 国土地理院測地部：東北地方北部の上下変動，連絡会報，**27**（1982），29 - 44.



白マキは改埋点を示す。

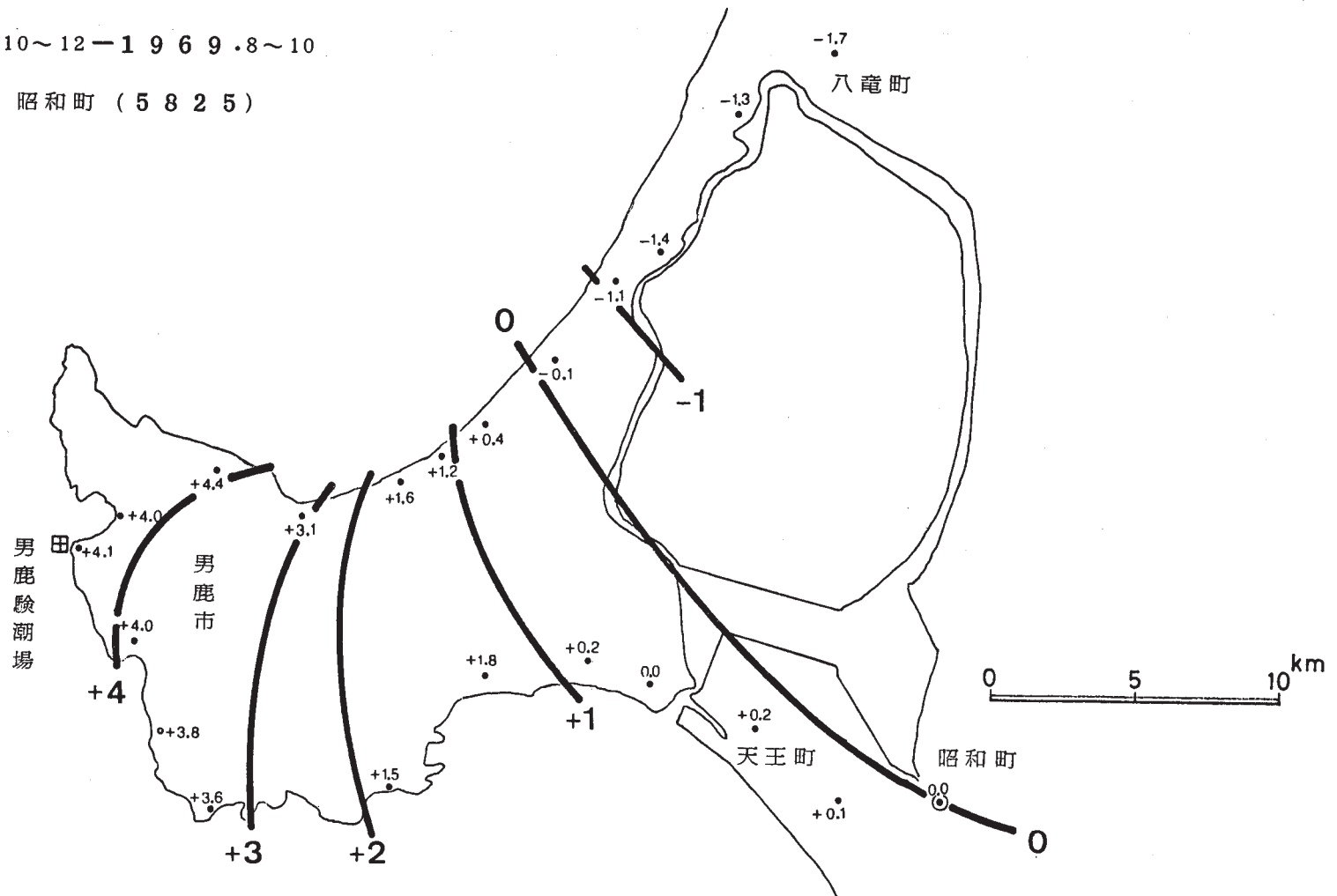
断層名及び断層の位置は、「日本の活断層」活断層研究会編による。以下注記略。

第1図 男鹿半島の上下変動
Fig. 1 Vertical movement in the Oga Peninsula.

1981.10~12-1969.8~10

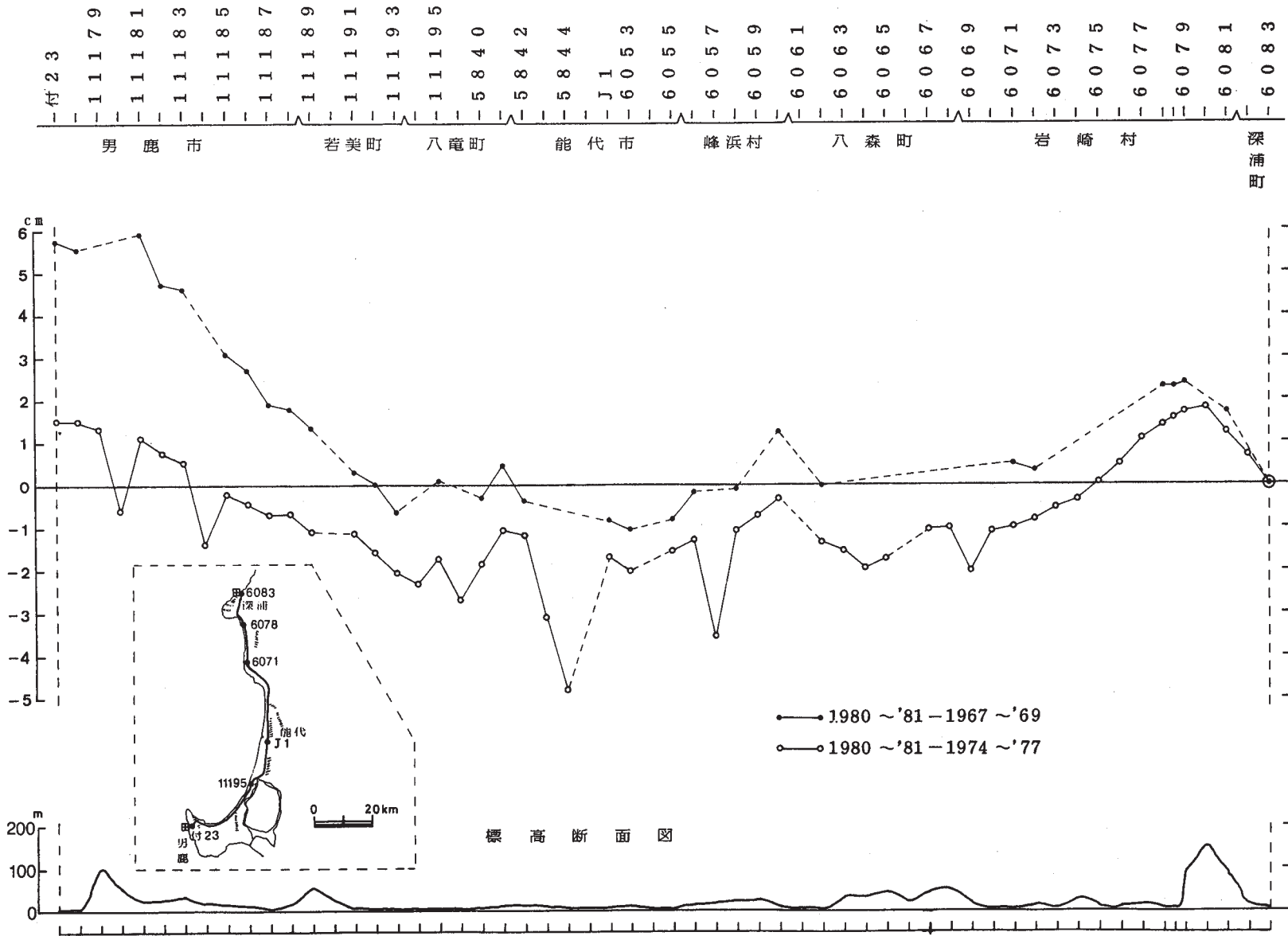
基準 ◎ 昭和町 (5825)

単位 cm



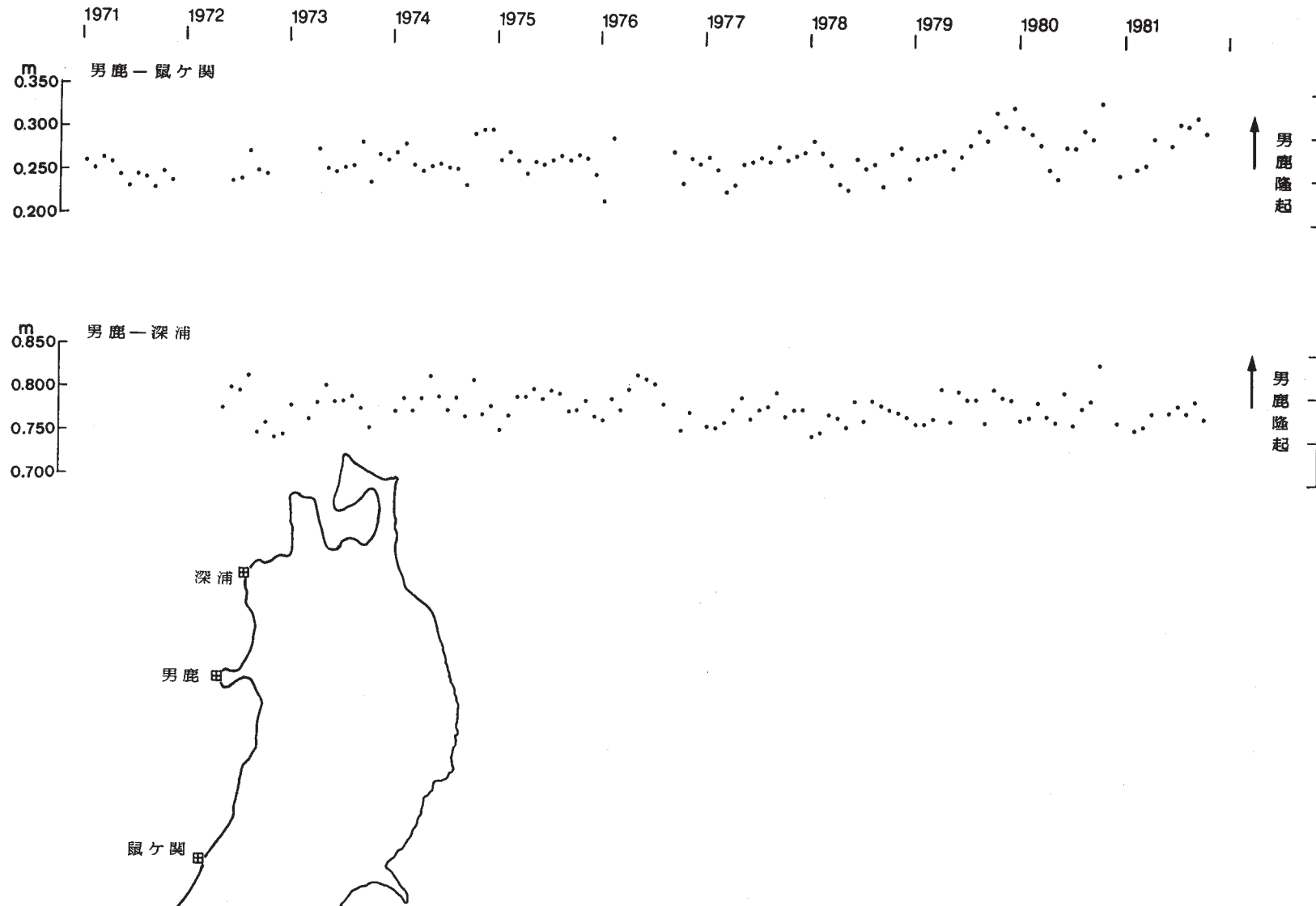
第2図 男鹿半島の上下変動（等量線図）

Fig. 2 Contour map of vertical movement in the Oga Peninsula.



第3図 男鹿～深浦間の上下変動

Fig. 3 Vertical movement between Oga and Fukaura tidal stations.



第4図 男鹿験潮場と鼠ヶ関、深浦験潮場間の月平均潮位差

Fig. 4 Differences in monthly mean sea level from tidal station pairs Oga-Nezugaseki and Oga-Fukaura.

